



ぬらりひよん



猫屋雑猫

年の瀬迫る大晦日でございます。

世の人々が個々の理由にてお忙しいご様子でございますが

そこを一息、つまらない妖怪のお話などいかがでございますでしょうか。

そうでございますね。

この時期の定番と申しますと、それはもう「ぬらりひょん」でございます。

某妖怪アニメの影響で何やら妖怪のラスボスのような扱いの昨今でございますが、妖怪にも下剋上がございますのでしょうかねえ。

江戸の頃の黄表紙を見ている限りでは「見越し入道」が一番だったのではないかと感じる物語が多く存在いたします。

さてさて、この時期に「ぬらりひょん」ご存知の方ならば当然と思われることでしょう。

とにかく人が忙しいときにだけ現れ、邪魔になる場所に居座る。

見た目は柔和な爺にしか見えないといいます。

茶など啜りながら、やれ引越した、やれ大掃除だというような人間の忙しいときに気が付いたら邪魔になる場所に座っているだそう。

これが邪魔だから退いてくれ、いっそ投げ出そうといたしましても動きません。

まあ、そういう妖怪なのですから仕方ありません。

説得を試みますと、まるで話が噛み合わないといいますから厄介ですな。

「のらりくらり」と話にならずに終わるから「ぬらりひょん」なのだそうです。

これの正体は……なんて邪推は止めておきましょう。

師走の大晦日でございます。

世の人々は、何かと忙しそうにいたしております。

「ええい、邪魔だ。どこかへいけばいいのに！」などと言いたくなったら、それは既知の方ではなく変化した「ぬらりひょん」かもしれません。

それだけでなく忙しい日々、苛々せずとも洒落の一つと思いながら「ぬらりひょん」に暖かな茶でも出してやってはいかがでしょう。

これが「ぬらりひょん」を追い払う方法と伝える地方もございます。

ぬらりひょん

<http://p.booklog.jp/book/41637>

著者：猫屋雑猫

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/nekoyazathuneko/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/41637>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/41637>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.